第３回トキと共生する里地づくりネットワーク協議会の概要

【開催日時】 令和６年８月６日（火） 9:30～11:50（会議）
13:00～16:30（現地視察）

【開催場所】 出雲市役所

【参加団体】 佐渡市

石川県及び関係９市町※1

（七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町）

島根県出雲市

宮城県登米市

秋田県にかほ市

コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム※2

（茨城県古河市、結城市、常総市、坂東市、境町、栃木県栃木市、小山市、野木町、埼玉県行田市、加須市、鴻巣市、久喜市、北本市、吉見町、千葉県野田市、我孫子市、いすみ市、東庄町）

環境省自然環境局野生生物課

関東地方環境事務所

※１ 当日の出席者は石川県、七尾市、珠洲市、能登町

※２ 当日の出席者は栃木県小山市

＜オブザーバー参加＞

新潟県・佐渡トキ保護センター

農林水産省大臣官房

農業環境対策課

東北森林管理局

関東森林管理局

近畿中国四国森林管理局

国土交通省水管理・国土保全局

東北地方整備局

関東地方環境整備局

北陸地方環境整備局

中国地方整備局

島根県

【協議会議事及び概要】

１　開会

２　挨拶

３　出席者紹介

４　トキと共生する里地づくり取組地域における取組紹介

（１）取組紹介

- トキと共生する里地づくり取組地域５地域（石川県（石川県及び関係９市町）、出雲市、登米市、にかほ市、小山市（コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム））より、地域の概要、取組方針、取組を通じて目指す地域の姿、具体的な取組内容等について発表。

（２）意見交換

- 出雲市から石川県に対し、生物多様性の確保と省力化を両立する除草方法及び民間技術によるトキの餌資源量増加の実証試験の詳細について質問があり、石川県から以下の内容の回答があった。

  ・除草方法については、根本から一定の高さを刈り残すことによって、除草回数を減らし、生き物の生息場所を確保する取組の効果を検証しているところ。ドジョウなどの増殖のための簡易飼育機材の実証を民間企業が行っている。

- 石川県から出雲市に対し、企業が参画した経緯について質問があり、出雲市から以下の内容の回答があった。

  ・各企業の理念に基づき、かねてより社会貢献として SDGs の活動をされていた企業であり、普及啓発の面で先方からお声がけがあったもの。出雲市から協力要請したものではない。

- 環境省からにかほ市に対し、地域住民へのアンケート調査の結果のうち、トキの認知度について質問があり、にかほ市から以下の回答があった。

  ・トキの認知度が向上しているという結果は得られていないが、シンポジウムの開催等を通じて認知度向上を期待する。

５　本州でのトキの定着に向けて

（１）環境省佐渡自然保護官事務所の取組の紹介～野生のトキのモニタリング～

（環境省佐渡自然保護官事務所）

- 佐渡自然保護官事務所が日々取組んでいるトキのモニタリングについて資料と映像を用いて説明。トキの１年の行動を紹介する映像も上映した。

（２）本州での野生復帰に向けた確認事項について（環境省希少種保全推進室）

- 「本州等におけるトキの野生復帰に向けた考え方及び確認事項について（以下、「確認事項」という。）」を説明。
- 確認事項に沿って本州での野生復帰の取組を進めるにあたり、本州等におけるトキの野生復帰に向けた確認シート（案）（以下、「確認シート（案）」という。）によって、野生復帰を目指す自治体の取組の進捗状況を確認することを説明。

（３） 本州での野生復帰に向けた今後の予定について（環境省希少種保全推進室）

- 口頭で以下を説明

・本州でのトキの放鳥場所や時期等は、「考え方及び確認事項」に記載の内容の確認や有識者等の意見も踏まえ、生息環境や社会環境の状況を見極めた上で判断する方針。

・「本州での放鳥」は新規の取組であり、放鳥方法をはじめ様々な点を丁寧に検討しながら進める必要があり、初年度はまずは１地域での実施を想定している。

・石川県復興プランにおいて能登半島地震からの創造的復興におけるリーディングプロジェクトのひとつとしてトキが位置づけられており、国としても復興への支援に務めたい。

（４）意見交換

- 石川県から環境省に対して以下の要望があった。

・放鳥に必要な具体的な取組みを早期に提示していただきたい。

・放鳥候補地での準備を進めるため、放鳥方法（手法及び場所）を早期に提示していただきたい。放鳥場所で順化してからの放鳥は実施例が少ないとのことから、知見の共有と、放鳥の際には専門職員の派遣等の支援をお願いする。

・放鳥後のモニタリングについて、国と自治体の役割分担を明示していただきたい。また、国によるモニタリングの支援（実施や助言）をお願いする。

・トキに関する風力発電のガイドラインの策定をお願いする。トキに対する電気柵の影響と対策を提示していただきたい。

・石川県では「創造的復興プラン」でトキが舞う能登の実現を創造的復興の象徴と位置付け、関係団体が一丸となって取組みを進めている。トキの放鳥に向けた十分な支援をお願いする。

- 環境省から以下の内容の回答があった。

・放鳥方法は、トキ野生復帰検討会における検討や、放鳥候補地における調整、

関係者の議論を踏まえる必要があり、連携して方法を検討したい。放鳥場所で順化してからの放鳥については、先行して佐渡島内で実施し情報共有する。

・本州等での放鳥後のモニタリングは、適切な体制を検討し、改めて相談したい。

・トキに特化した風力発電施設のガイドラインの策定は予定していないが、今年度文献調査を行う予定であり、その結果を共有したい。

- 出雲市から環境省に対して以下の質問と要望があった。

・確認シート（案）は、確定ではなく今後検討ということか。

・最初の放鳥は１地域に限って実施する方針であることは公表してよいか。

・放鳥後のモニタリングや緊急時の対応については、一つの自治体では困難であるため、国の支援と役割分担をお願いする。

・本州等における放鳥に向け、国による全国的な PR を行い、より一層の周知と意識醸成を進めていただきたい。

- 環境省から以下の内容の回答があった。

・確認シート（案）の文言は確定ではない。必要に応じて修正するため、要望をお聞かせいただきたい。

・最初の放鳥を１地域で実施する件については公表して差し支えない。

・放鳥後のモニタリングや傷病個体の対応における国の支援や役割分担については、今後整理してご相談する。

６　その他

- 次回開催地の佐渡市から、来年度是非出席していただきたいこと、協議会メンバーに放鳥を見学していただくことを検討している旨の挨拶があった。

７　閉会

協議会の様子

【現地見学の概要】

① 稗原エリア野尻地区

環境保全型農業を実施している水田を見学し、作業の主体者より、鳥類の採食場所整備に関する取組（土水路（江）の設置、ビオトープ整備）について説明を受け、また、トキの飛来に対する期待についても話があった。

稗原エリア野尻地区の見学の様子

② 稗原エリア岩倉地区

鳥類の採餌場所とするために整備したビオトープを見学し、作業の主体者より、取組の内容（田んぼダム）について説明をいただくとともに、トキの飛来に対する期待についても話があった。

稗原エリア岩倉地区の見学の様子

③ 出雲市トキ分散飼育センター

トキの分散飼育施設の一つである出雲市トキ分散飼育センターを見学した。学習コーナーでは出雲市の企業３社が取組んでいるトキ放鳥支援プロジェクトについて話を聞いた。公開施設では飼育しているトキを見学し、飼育担当者から施設の解説や、飼育における留意点、問題点等の説明を受けた。

見学の様子

以上